



共同募金のお礼

和気地区共同募金会会長 越智美知子
昨年10月1日から12月31日まで実施いたしました赤い羽根共同募金運動に、皆様
よりご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
ここに募金の実績を報告し、紙面ではありますが、お礼とさせていただきます。
今後とも共同募金運動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金集計額 2,229,700 円

(順不同・敬称省略)

【和気地区町内会】

馬木
松原
太山寺
昭和団地
大渕東
勝岡

【馬木町】
中央包装システム(株)
ローソン馬木
アトラス高木
レディ薬局馬木店
(有)矢野設備
矢野秀則
矢野綱代
得居次男

【和気町1丁目】
政田商店
白形医院
アスク動物病院
三栄クリーニング
コマートよしの
芳野 徹
鷲谷浩三
清水康彦
四国家具運送(有)

【勝岡町】
ばら美容室
MS日吉鋼材(株)
愛媛新聞エリザーブ和氣
伸和環境(株)
ゲルーフホームなぎ
岡本公平
烟地みどり
勝岡八幡神社
(株)フードサム一ト四国ヨシケイえひめ事業部

【太山寺町】
太山寺土地改良区
オオノ開発(株)
(有)門間設計事務所
(株)芳野電業
三津山 武
岡田歯科医院
和気クリニック
山本設備(株)
佐々木陽一
朝日建設(株)
西川鐵雄
大島ヒデ子
ローソン太山寺店
ヒデキゴルフガーデン
松本 圭

【和気町2丁目】
楠留美
松山ポートセンター(有)
こもれびの家すずらん
永井 敏
河内正利
横山昌子

【共賛者】
愛媛県立松山蘿学校
横田美佳(和気小)
シンジョイ
長野健二
松山市地域包括支援センター
山本整形外科

【社会福祉協議会】
白石知史(和気支所長)
【民生児童委員協議会】
越智美知子

太田正男
柴田寿子
武智清二
久保浩康
水口理恵

和気1丁目
和氣浜
朝 汐
片 回
みどりヶ丘
城北団地
幸風苑

ケステーションエル
セントケア四国
hair craft moku
寿樂 職員
堅田茂美
和氣 齊
矢野みちよ
矢野英俊

小規模多機能ホームつむぎ
和気浜土地改良区
JAえひめ物流(株)
平井こどもクリニック
芳野俊明
芳野昌宏
芳野孝彦
芳野浩三

柳原賢祐
(有)芳之内設備
ニッシ・グルーピング(株)
愛媛合同物流(株)
大野幸弘
利岡真市
田中光直
勝岡土地改良区

太山寺歯科医院
太山寺
大地の母 太山寺
田中克彦
三津山 和子
たいさんじ整形外科
小規模多機能のん木
城本カネ子
和田泰廣
(株)たいしん
小阪暁心(真寿会)
尾埜秀樹
美松装工(株)
たこ焼ルンルン

理容ミロ
愛媛セルフ インド(株)
ビーチピット
笹田秀夫
芳之内克暢
芳之内 準

蒲池慎一(みなら城北分校)
島田工業(株)
(有)若葉
宮本洋志(駐在)
(株)愛媛リフォーム
(有)山田工業

芳之内淑子
友草 健
山崎栄一
松浦留美
高川かおり
渡邊美鈴
富永郁子

和気浜
大渕
小 山
太山寺4丁目
学校南
三光団地

(株)オーテック四国支社
はしもと脳神経外科
井関農機(株)
(有)元五郎
大内博久
福見友重
玉井孝徳
渡部 宰

和気郵便局
萬國堂
JAえひめ和氣店
(株)芳之内ガス
須賀 熟
矢野大二
芳野正至
門間自動車

南海産業(株)
(株)ヒロセファーマ
(株)共同建設工業
勝岡興業
岡本桂成
利岡真市
田中光直
勝岡土地改良区

西條輝夫
小池養蜂園
小規模多機能 楓華
竹の郷 職員
美容室 凜
フジモト塗装
サービス付高齢者住宅アンシャンテ
濱田澄江
平田 久
(株)大一合板商事
渡部啓・栄子
高井龍子
ますcafe
山崎明廣

カットハウスぱびい
横塚製作所
濱岡新二
芳之内晃匡
松本賢司
越智年久

篠原希好(北中)
(株)寺田商店
(有)若葉
串山辰也
(株)アステティックスジャパン
(株)アラウンド

小池昭秀
渡部和久
栗田鈴子
芳野金吾
崎坂ゆきみ
藤本優子
日野美保

和気社協だより

令和6年2月10日 第10号
発行 和気地区社会福祉協議会

和気の現況 令和6年1月1日現在	
人口	11,361人
世帯数	4,816世帯
高齢化率(65歳以上)	32.1%
年少人口率(15歳未満)	12.3%

令和6年和気地区成人式



記念撮影

民法の一部改正に伴い、令和4年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、松山市では成人式典の対象年齢を20歳としています。今年は、平成15年(2003年)4月2日から平成16年(2004年)4月1日までに生まれ、令和5年11月1日現在松山市に住民登録がある人(外国籍の人を含む)が対象でした。

令和6年1月7日(日)に開催された和気地区成人式には、男子43名、女子47名の合計90名が出席しました。新型コロナウイルスの5類移行に伴い、4年振りに和気公民館を会場としての開催でした。

第一部の成人式典のオープニングには、清和獅子舞保存会による勇壮な獅子舞が披露され、その後、芳之内淑子和気公民館長による式辞、DVD上映による野志克仁松山市長からの祝辞などが述べられました。

また、出席者を代表して、野本陽向さん、野本華京さんが「はたちのことば」として今後の決意を披露しました。

第一部と第二部の間には、出席者全員による集合写真を撮影しました。

第二部の記念事業では、和気小学校校歌の齊唱、ふるさと自慢音頭、和気公民館玉寿会による伊予万歳が披露されました。

その後、お祝いに駆けつけて下さった恩師から出席者へのメッセージが伝えられました。

最後に、和気公民館おっせたいくらぶの皆さんが準備した食事を食べながら、久しぶりに会った友達と楽しく会話をしていました。



伊予万歳



恩師のことば



代表による「はたちのことば」



歓談食事会

和気地区合同研修会（高知）

民生児童委員 渡部 和久



高知城ホール前にて



高知城



西島園芸団地前にて



西島園芸団地内の様子

令和5年5月20日（土）に和気地区合同研修会を開催しました。新型コロナウイルスが感染法上の位置付けが、令和5年5月8日から5類感染症になった事を契機に計画された事業でした。

研修会は、民生児童委員協議会から15名、社会福祉協議会から3名、町内会連合会から3名の合計21名が参加しました。

私達は、チャーターしたバスで、午前8時に和気公民館を出発して、高知城に午前11時前に到着しました。バスを降りて、高知城ホールの前で記念撮影した後、高知城見学組と高知城近辺散策組に分かれて行動しました。そして、12時に土佐料理司本店へバスに乗って入店して、司の料理に舌鼓を打ちながら、約1時間食事を楽しみました。その後、店を出てから徒歩で街並みを通って約15分でひろめ市場に到着しました。そこで、約1時間いろいろなお土産等の買い物をエンジョイしました。

次にバスに乗って向かったのは、バス駐車場から約20分程度の距離にある西島園芸団地でした。到着後、全員で記念撮影をしてから入店しました。見学の途中にフルーツ券で、メロンとスイカを試食して、すごく美味しかった事を覚えています。私達は、約1時間の見学後、バスに乗って南国ICから松山ICを経由して、好天にも恵まれ事故も無く全員無事に午後6時20分和気公民館に帰ってきました。尚、添乗員の代行を務められた民児協の太田副会長、大変お世話になり、ありがとうございました。

第16回大声大会

2024年1月1日午後4時10分に発生した「令和6年能登半島地震」は、震度7・マグニチュード7.6の巨大な地震でその後の津波と合わせて甚大な被害がもたらされました。

また、2022年1月22日の午前1時08分頃に発生した日向灘地震は、マグニチュード6.4の強度で松山市で震度4を観測したのは記憶に新しい事ですが、想定されている南海トラフ巨大地震の領域内で発生したとの事でした。南海トラフ巨大地震では瀬戸内沿岸では最大で3.9メートルの津波が予想されており、和気地区も非常に大きな被害がもたらされる地域内に含まれていますので備えておく必要があります。



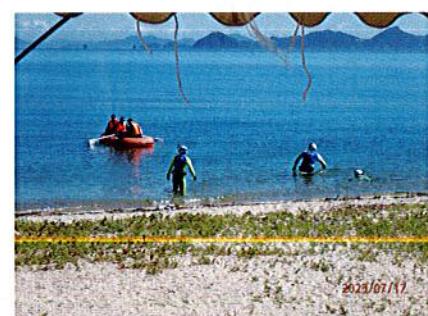
「高齢者」の部

常日頃から火事や地震等に対する危機意識・防災準備や対処方法などの情報共有を行い、和気地区的防災意識を高揚して自助・共助の体制づくりを醸成する目的で始めた「大声大会」は、令和5年7月17日「海の日」に第16回目が和気浜海岸で開催されました。新型コロナウイルスの蔓延で、過去3



「大人」の部

年間は参加者を絞り、時短を実施しての開催でしたが、5類に移行した事を受けて今回は4年ぶりに通常開催といたしました。恒例となったこのイベントでは、「火事だー！」とか「津波だー！逃げろー！」等の防災に関する言葉を如何に大声で叫ぶかを競いました。大声の大きさは、デシベルという単位で数値を表示出来る装置を用いて測定しました。中には110デシベルを超える音量に達する人もいて、文字通りの「大声」に観客から大きな拍手が送られていました。幅広い世代から参加して貰う観点から、「子供」「大人」「高齢者」の三部門制で実施しました。



水難事故の救助訓練

大声大会の機会を活用して、消防艇による消火活動のデモンストレーションや水難事故の場合の救助活動のデモンストレーションも披露されました。



消防艇による消火訓練

同大会では、声量の大きさを競うイベントの他、消化訓練を兼ねて、水消火器を用いて如何に短時間で水消火器からの放水を的に当てて倒すかの競争も行われました。大声大会に出場した全員が水消火器訓練にも参加しました。同大会に出場した選手たちは多くは、実際に地震や火災などの災害に遭遇した際にはこれらの経験をきっと生かせる事と思います。



水消火器訓練

注) 命を守るために、地震への備えについて

内閣府及び気象庁では、地震に備えて、●家具の固定 ●非常用持ち出し袋の準備 ●水や食料の準備 ●避難場所や避難経路の確認 ●感電ブレーカーの設置 ●建物の耐震化などを呼び掛けています。